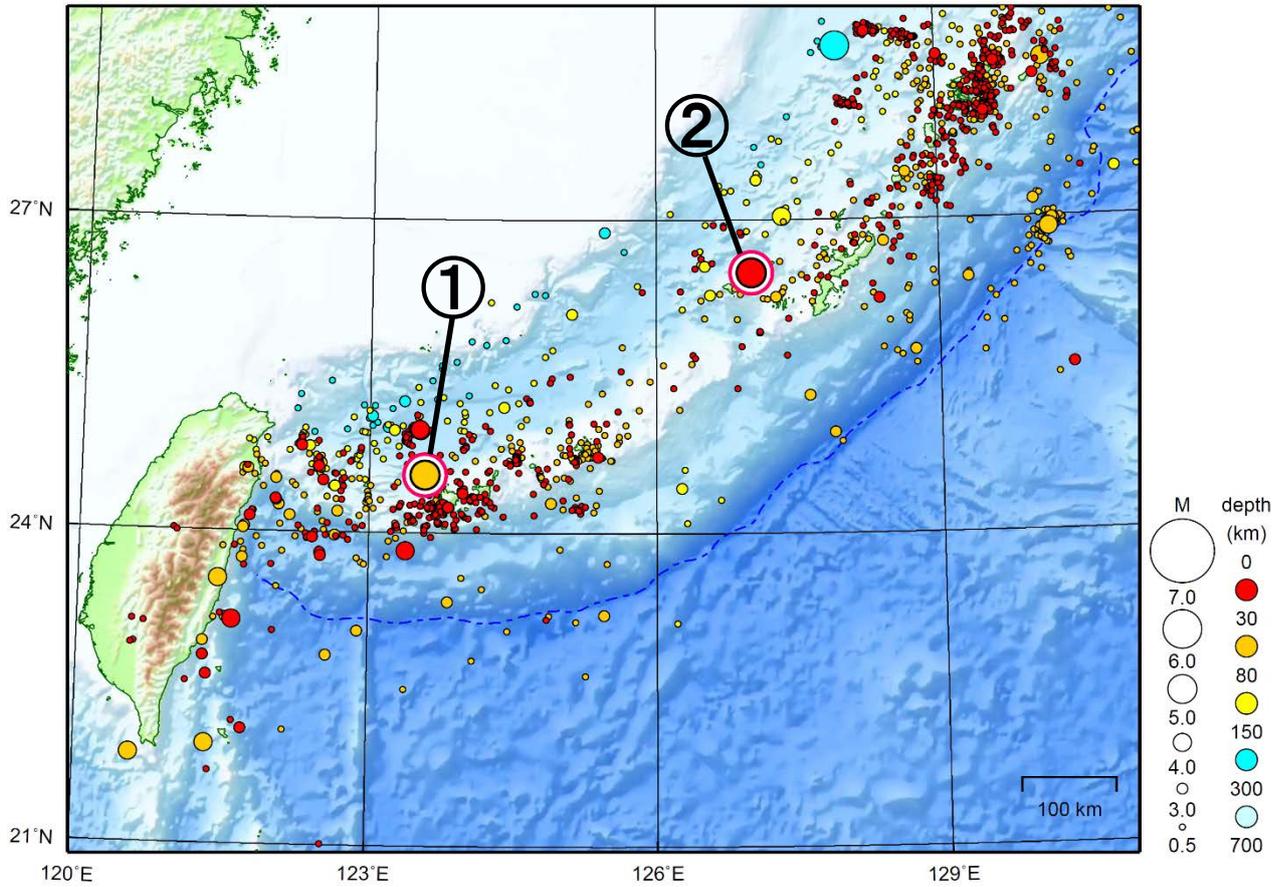


# 沖縄地方

2017/08/01 00:00 ~ 2017/08/31 24:00

N=1919



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

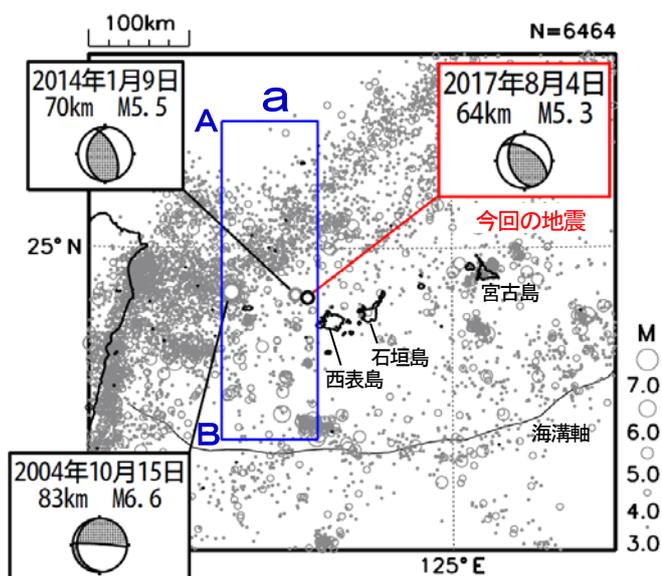
- ① 8月4日に西表島付近でM5.3の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 8月8日に沖縄本島近海でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

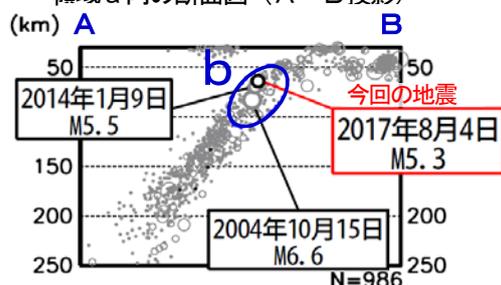
## 8月4日 西表島付近の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2017年8月31日、  
深さ 30km～250km、 $M \geq 3.0$ )  
2017年8月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解

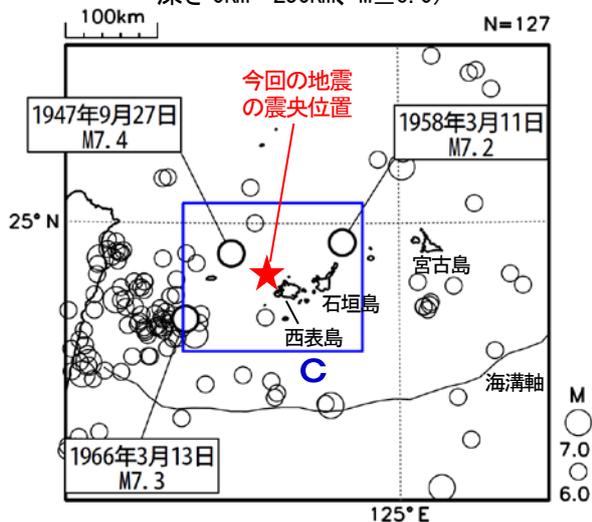


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

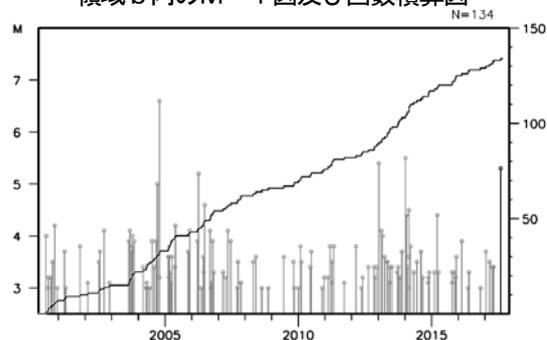
(1923年1月1日～2017年8月31日、  
深さ 0km～250km、 $M \geq 6.0$ )



2017年8月4日20時19分に西表島付近 (西表島の北北西約30km) の深さ64kmでM5.3の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

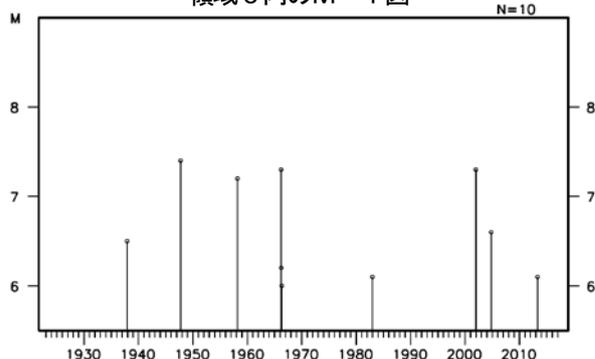
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。そのうち、2004年10月15日にはM6.6の地震 (最大震度5弱)、2014年1月9日にM5.5の地震 (最大震度4) が発生していた。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1947年9月27日にM7.4の地震 (最大震度5) が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人の被害が生じている。(被害は「日本被害地震総覧」による)。

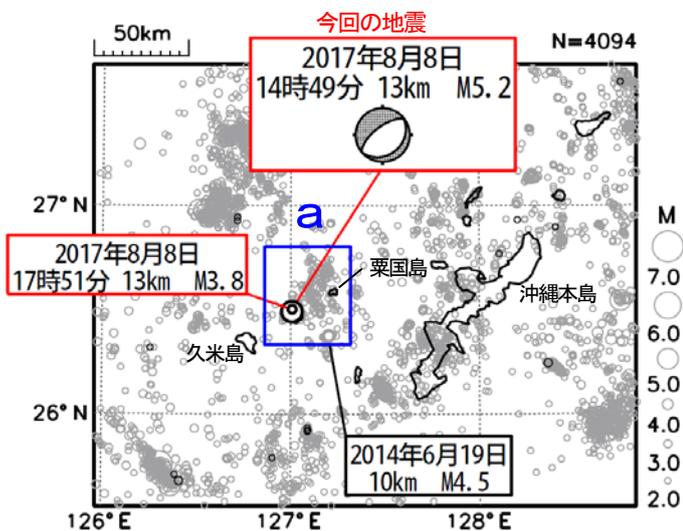
領域c内のM-T図



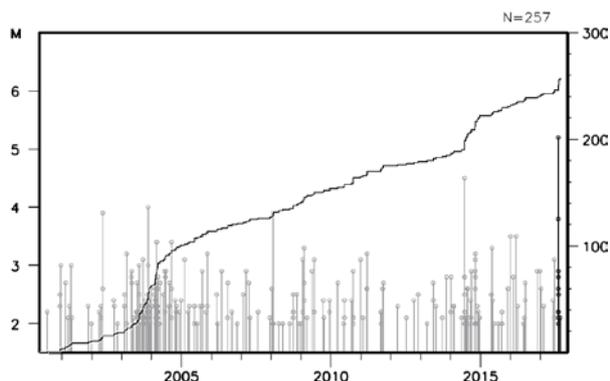
(この期間は検知能力が低い)

# 8月8日 沖縄本島近海の地震

震央分布図  
 (2000年7月1日~2017年8月31日、  
 深さ0km~30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2017年8月の地震を濃く表示  
 図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

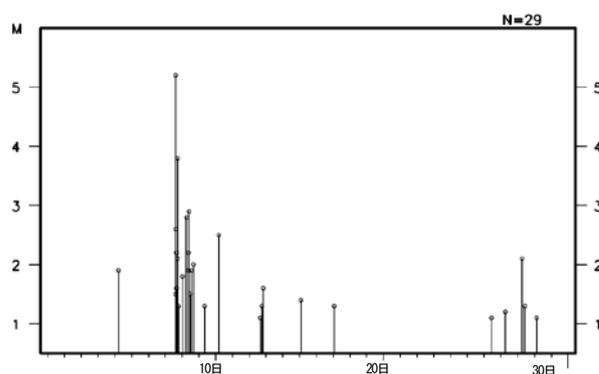


2017年8月8日14時49分に沖縄本島近海(久米島の北東約30km)の深さ13kmでM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震の発生後ややまとまった活動があり、同日17時51分にM3.8の地震(最大震度2)が発生した。

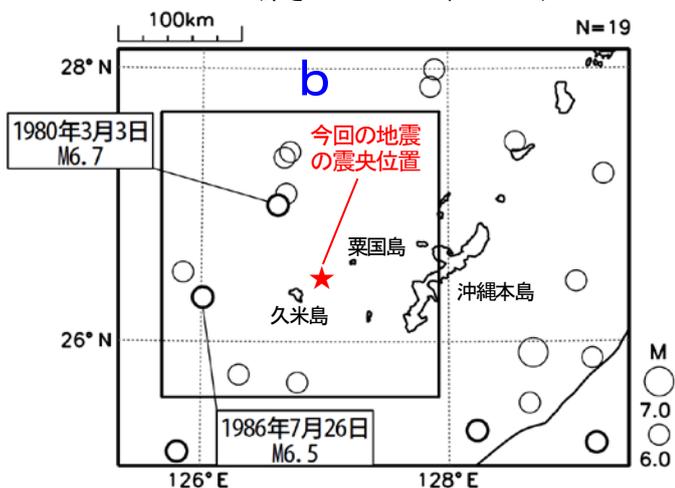
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域 a)では、M4程度の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は今回が初めてであった。

領域 a 内の M-T 図

(2017年8月1日~2017年8月31日、 $M \geq 1.0$ )

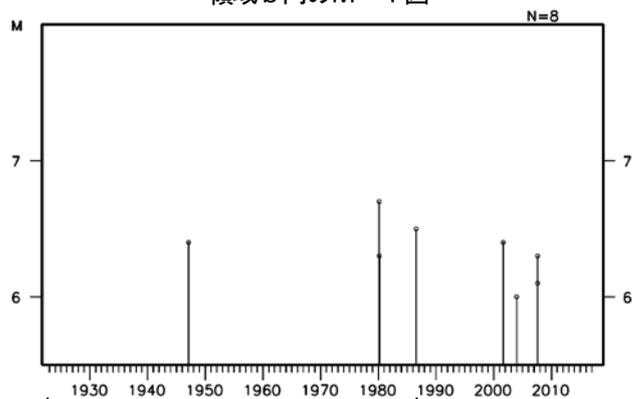


震央分布図  
 (1923年1月1日~2017年8月31日、  
 深さ0km~100km、 $M \geq 6.0$ )



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1980年3月3日にM6.7の地震(最大震度3)が発生している。

領域 b 内の M-T 図



(この期間は検知能力が低い)